

SUIRLO NEWS

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 [サイロ]

CONTENTS

01 知的財産・ベンチャー支援室 & 研究コンプライアンス室を設置

組織運営

研究支援機能と研究成果のアウトプットの強化を目的として、平成29年10月1日付で学術研究・産学官連携推進機構の学術研究支援本部に「知的財産・ベンチャー支援室」と「研究コンプライアンス室」を設置しました。

知的財産・ベンチャー支援室は、知的財産の発掘・管理・活用を担う知的財産グループと、教員・学生の起業や大学の研究成果に基づくベンチャー創出・成長を支援するグループを新たに加えた2グループで構成されています。ここ数年、ベンチャー設立に関する教員からの問合せが増え、相談・支援の窓口として設置しました。実際に昨年来3つのベンチャー企業が設立されています。現在、次年度からの施行を目指して信州大学発ベンチャーの認定、支援メニューなどの学内規程や施策を検討中です。12月16日(土) 14時から長野工学部キャンパスにおいて、事業創造アクセラレーター等を運営する(株)ゼロワンブリストとの連携により、「Pre University Accelerator」を実施します。セミナー、ワークショップ及び個別メンタリングで構成される大学等における研究成果の事業化をサポートするプログラムです。ご興味のある方

知的財産・ベンチャー支援室

- ・知的財産グループ
- ・ベンチャー支援グループ **New!**

研究コンプライアンス室

- ・研究不正グループ
- ・動物実験・遺伝子組換え・微生物実験、臨床研究、RI、核燃料実験グループ
- ・利益相反グループ
- ・ABS対応グループ **New!**

学術研究支援本部 角田 哲啓
学術研究支援本部 阿部 紀里子

床研究法の施行など世の中のルールが変わるなか、最新の情報を学内外の研究関係者に提供し、安心して研究活動を実施していただくべく、いっしょに支援をしていきます。

はお気軽にご参加ください。

研究コンプライアンス室は、これまで研究推進部の各課を中心に担当してきた研究倫理や不正防止、利益相反等の研究コンプライアンスに関する業務を1つに集約するとともに、平成29年8月に発効した生物多様性条約・名古屋議定書(遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分:ABS)に対応するため機能を加えた4グループで構成されています。昨今、大学の研究不正などコンプライアンスが問われるニュースも多く、関連する指針やガイドライン等が見直し・強化されています。個人情報保護法の改正、平成30年4月からは臨

研究推進

- ▶01 知的財産・ベンチャー支援室&研究コンプライアンス室を設置
- ▶02 「オープンベンチャー・イノベーションセンター」入居申込みを受付開始
- ▶03 JST「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)」に採択

先鋭領域融合研究群

- ▶04 「インターバル速歩の大規模普及に向けた携帯アプリ開発プロジェクト」が日本医療研究開発機構(AMED)事業に採択

産学官連携

- ▶05 第29回国立大学法人共同研究センター長等会議報告
- ▶06 イノベーション・ジャパン 2017-大学見本市 & ビジネスマッチング

その他

- ▶07 SUIRLOメンバー紹介

お知らせ 近日開催イベント案内

02 研究推進

文部科学省・地域科学技術実証拠点整備事業「オープンベンチャー・イノベーションセンター」入居申込みを受付開始

信州大学は、文部科学省・地域科学技術実証拠点整備事業に採択された長野県との共同提案事業の拠点名称(仮称:フアイバー・ベンチャーエコシステム形成拠点)を、「オープンベンチャー・イノベーションセンター(OVIC)」に決定しました。OVICは、本学の強みである「材料科学」と地域産業界の精密技術を核に、産学官の共同研究開発を通じて製品・事業化を実現し、研究成果の社会実装を推進する拠点(レンタルラボ19室等)として、上田キャンパスに平成30年3月竣工予定です。11月1日に第一回入居希望者向け説明会(全3回)を開催し、入居申込みの受付を開始しました。入居にご興味をお持ちの方はどうぞお気軽にお問い合わせください。



完成イメージ図
(階数: 鉄骨造2階建て 延床面積: 約1,800㎡)

【お問い合わせ先】
研究推進部 産学官地域連携課 担当: 岡崎、松澤
TEL: 0263-37-2087

産学官地域連携課

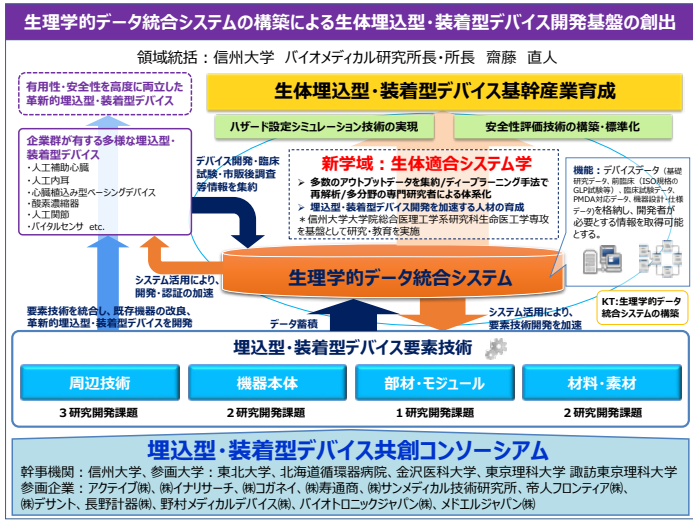
松澤 哲

JST「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)」に採択

学術研究
支援本部
鳥山 香織

科学技術振興機構(JST)が「本気の産学連携へ、骨太の産学共創で未来を拓くオープンイノベーション」と題するプログラム「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)」に、信州大学を幹事機関とした「埋込型・装着型デバイス共創コンソーシアム(4大学、企業1社)」で提案した『生理学的データ統合システムの構築による生体埋込型・装着型デバイス開発基盤の創出』が平成29年9月28日付で採択されました。今年度は、全国から3拠点の一つに本学の提案が選ばれました。

OPERAは、新たな基幹産業の育成の核となる革新的技術の創出を目指すとともに、



研究領域「生理学的データ統合システムの構築による生体埋込型・装着型デバイス開発基盤の創出」の概要

本プログラムの概要は、これまで個別に開発が行われていた医療機器の研究開発の知見とプロセスを集積・解析し、活用可能なデータとして体系化する「生理学的データ統合システム」を構築します。これにより、研究開発と認証の期間短縮・コスト低減を実現し、有用性と安全性を高度に両立した高質埋込型・装着型デバイスを実現します。さらに、生理学的データ統合システムを中核とした新学域「生体適合システム学」を創出し、大学院生が共同研究に参画するなど生体埋込型・装着型デバイス開発等に係る高度人材を育成します。これにより、生体埋込型・装着型デバイスの基幹産業を育成し、生涯自立して生活できる社会を実現いたします。(図参照)

本プログラムは平成29年から5年間実施される予定です。本プログラムにより、生体埋込型・装着型デバイス開発の産学共創プラットフォームを形成し、日本発の医療機器基幹産業の創出を目指して参ります。皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

「インターバル速歩の大規模普及に向けた携帯アプリ開発プロジェクト」が日本医療研究開発機構(AMED)事業に採択

バイオメディカル研究所
下総 志穂

増木静江准教授(バイオメディカル研究所先端疾患予防学部門)が中心となつて進めている「インターバル速歩の参加者を数万人規模に拡大するための携帯端末アプリの開発プロジェクト」が国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の平成29年度「IoT等活用生活習慣病行動変容研究事業」に採択されました。8月30日には記者会見が行われました。



記者会見の様子、左から田中榮司医学部長、能勢博教授、増木静江准教授、中村宗一郎理事、齋藤直人バイオメディカル研究所長

携帯端末アプリの開発によって数万人規模に拡大することを目指すものです。平成31年度には本格的にアプリの運用を開始する予定です。

携帯端末アプリ導入により体力維持、生活習慣病等の予防に効果的であるインターバル速歩の参加者が拡大し、その結果として、医療費の見込まれます。

また、参加者が数万人に達すれば、個人の身体特性(年齢、性別、遺伝子背景、形態、体力、健康状態など)をシステムに入力することで、運動継続効果の未来予測を行うことなども可能になり、それを個人にフィードバックすることにより、参加者は自分の運動効果を確認することができます。更に、本アプリ事業を健康食品・機器メーカーの新製品テストベッドに利用することも構想しています。

※1 インターバル速歩トレーニング
個人の最大酸素摂取量の70%以上の速歩と40%の緩歩を3分間ずつ交互に繰り返す、1日30分、週4日、5ヶ月間実践するトレーニング方法。体力が最大30%向上、生活習慣病指標が最大80%改善、その結果、医療費が20%削減されることが明らかになっている。

※2 遠隔型個別運動処方システム
能勢博教授らの研究グループは、過去1年間、中高年の健康スポーツ教室「熟年体育大学」を運営し、その経過で「インターバル速歩トレーニング」を開発、その効果について7,300名、遺伝子について2,200名のDBを構築した。

第29回 国立大学法人 共同研究センター長等会議

産学官連携・
地域総合
戦略推進部長
林 靖人

2017年9月28日(29日、秋田県にて「第29回国立大学共同研究センター長等会議」が開催されました。本会議は、大学と企業の共同研究・知的財産等の活用を加速させるため、全国の国立大学等に設置された推進組織の情報交換や連携を目指す場です。

本年度は、平成2016年11月に策定された「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」、2017年6月に閣議決定された「未来投資戦略2017」に基づき、『組織的な産学連携』がメインテーマに設定されました。会議では、京都大学からオープン・イノベーション推進機構に繋がる組織の構想や山口大学による知財教育の必修化などの先



会議の様子

進事例報告をはじめ、文部科学省による政策や支援事業/制度の紹介が行われました。パネルディスカッションでは、予算の積算方式や知財管理、プロデュース人材の獲得・育成、事務や教員の意識改革、産学連携教育など新たなステージへのステップアップに向けて様々な事例紹介、問題提起が行われました。来年度の第30回は信州大学が担当となり、松本で開催予定です。本学からは、中村理事・副学長が出席し、当日採択が発表された「産学共創プラットフォーム共同研究推進プログラム(OPERA)」などに触れ、次年度はさらに具体的な事例・成果を踏まえた議論を展開したいと挨拶をし、閉会となりました。



中村宗一郎理事の挨拶

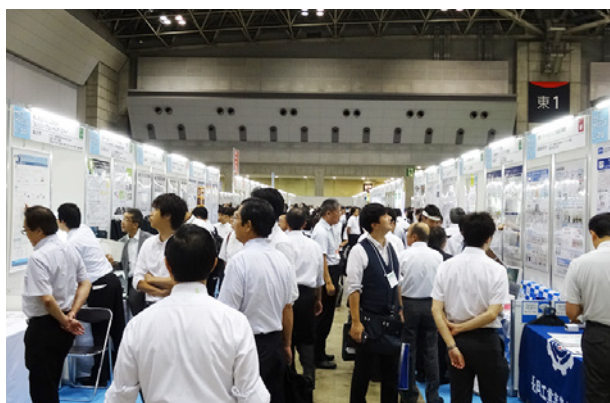
イノベーション・ジャパン2017 — 大学見本市&ビジネススマッチング

学術研究
支援本部
土田 拓

産学官
地域連携課
山崎 守雄

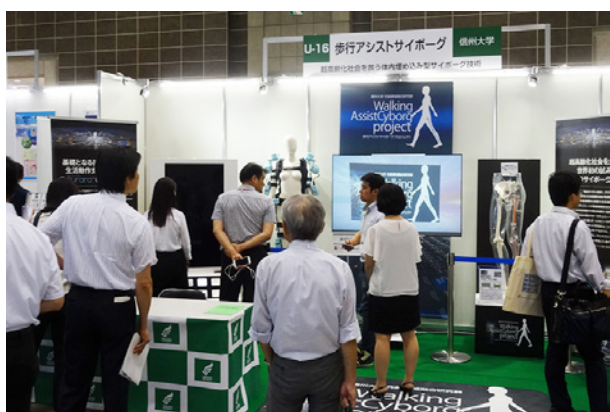
「イノベーション・ジャパン2017—大学見本市&ビジネススマッチング」が2017年8月31日(9月1日)の2日間にわたり東京ビッグサイトで開催されました。新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)と科学技術振興機構(JSTI)が主催する同イベントは、大学等の研究成果の社会還元、技術移転の促進、及び実用化に向けた産学連携のマッチング支援を目的としています。

学術研究・産学官連携推進機構では、組織展示(大型共同研究を目指した本格的な産学連携をテーマとする大学ごとの展示)とシーズ展示(大学見本市)への出展を支援いたしました。組織展示では、



会場の様子

先鋭領域融合研究群を中心に進められている体内埋め込み型歩行アシストサイボーグプロジェクトの取組を紹介するとともに、齋藤直人教授(先鋭領域融合研究群バイオメディカル研究所長)と橋本稔教授(繊維学部)にご講演頂きました。シーズ展示には工学部と繊維学部を中心に5件のブースが出展され、企業関係者を始め多くの皆様にご覧頂きました。また同時開催の「JSTフェア2017」では、信州大学アックア・イノベーション拠点(COI)が新規に研究開発した分離膜による塩水の淡水化等の実演と展示も行われました。機構では、研究シーズの発信、産学連携のマッチングの支援を引き続き推進してまいります。



組織展示の様子

松本キャンパス
で医工連携コー
ディネーターを担
当しています。医
療現場のニーズと



産学官連携・
地域総合
戦略推進本部
櫻井 和徳

地域企業の技術シーズをマッチングして新規医療機器等の開発を支援する業務です。工学部出身で長年に渡り電子機器メーカーで技術開発を担当し、近年では本学医学部と医療機器開発に関わる共同研究を行っていました。それがきっかけで本学大学院医学系研究科を修了し、後に前記企業から派遣されて現職に就きました。工学的な知見と若干の医学知識を生かして、医師や医療スタッフのニーズを判り易く的確に企業様にお伝えし、世の中で本当に必要とされる医療機器の開発に繋げて行きたいと思っております。

医工連携コーディネーターとして医学部及び附属病院を担当し、医療関連分野の振興を目指す産学官コンソーシアム「信州メディカル産業振興会」を主なフィールドとして活動しています。前職の製薬企業においては、営業、事業開発、戦略情報、経営企画、渉外、広報、秘書室等を担当していました。

医療現場におけるニーズを、長野県内を中心としたものづくり企業の持つ高い技術シーズと結び付け、共同研究・開発から実用化、事業化までの一貫した支援を行うことにより、新しい医療機器等の創出による医療への貢献と共に、企業の新分野への参入と発展に寄与したいと思っております。



産学官連携・
地域総合
戦略推進本部
草深 克臣

▶ 01 SUIRLO メンバー紹介

知的財産に関する業務（出願支援、活用支援、管理業務）を行っています。社会から産学



知的財産・
ベンチャー支援室
柏原 秀雄

官連携に対する期待が高まる中で、大学における知的財産活動は、ますますその重要性を増しています。信州大学知的財産グループでは、研究成果を知的財産として適切に保護、活用するため、成果の発明相談から、契約調整、日常の知財相談に至るまで幅広いサポートを展開しています。

私は、普段は松本キャンパスにおりますが、業務の性質上、各キャンパスにお邪魔する機会も多くあります。キャンパス内で見かけたとき、知的財産に関して知りたいことがあるとき等には、お気軽にお声かけ下さい。

本年度9月より、産学官連携事業に携わることになりました。「地域プロフェッショナル・ゼミ」のカリキュラム・コーディネーター、および松本周辺の産学官連携を主な仕事としております。



産学官連携・
地域総合
戦略推進本部
高田 正哉

大学改革が進む中で、地域と大学との関係が見直されています。その中で産学官連携という、地域と大学の協働を深める事業へ従事することに大変やりがいを感じております。信州大学と地域の関係が深まることで、新しい研究的・産業的な発展ができるよう業務に邁進したいと思っております。松本地域での産学官連携事業でのご相談がございましたら、いつでもご連絡ください。

お知らせ

近日開催イベント案内

第1回 信州大学 大学発ベンチャー創出・支援セミナー「Pre University Accelerator」研究
成果の事業化に向けて」

【開催概要】

■日時：

①事業創造セミナー：平成29年12月16日（土）14～17時

②ワークショップ及び個別メンタリング（2日間）：
1回目（Day1）平成30年2月4日（日）10～18時

2回目（Day2）平成30年3月3日（土）14～18時、4日（日）10時～

■場所：信州大学長野（工学部）キャンパス 国際科学イノベーションセンター2階セミナースペース
※プログラムの詳細は以下のURLをご参照ください。
<https://01booster.com/events/155>

第3回「地域をみなおす、うごかす。」地域課題解決プラン公開審査会

【開催概要】

■日時：平成29年12月16日（土）14～17時

■場所：信州大学工学部キャンパス内 信州科学技術総合振興センター（SASTec）3階大会議室
※詳細は以下のURLをご参照ください。
<http://shinshu-u-areas.tumblr.com/symposium20171216>

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 [サイロ]

〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1 CSMIT 内
TEL:0263-37-2091 FAX:0263-37-3049
WEB サイト： <http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/suirlo>

